

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社 中国銀行		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 700-8628 岡山市北区丸の内 1-15-20
本票作成	部署名 : 総務部			
主たる業種	分類コード	62	業種名 : 銀行業	
事業の概要	銀行業（総合金融サービス）、従業員 3, 963 名			
県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地	
	①	芳賀CHビル	岡山市北区	
	②	本店ビル	岡山市北区丸の内 1-15-20	
	③	事務センター	岡山市中区平井 3-1046-1	
	④	岡山駅前支店	岡山市北区本町 2-5	
	⑤	大供支店	岡山市北区柳町 2-11-23	
	⑥	東本館	岡山市北区丸の内 1-14-17	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数) 148 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台			
主な工場等の排出量	温室効果ガス排出量	基準年度(令和 5 年度) 8,819 t CO ₂	(令和 6)年度排出量 4,361 t CO ₂	目標年度(令和 8 年度) 8,554 t CO ₂
	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量	
	①	芳賀CHビル	22 t CO ₂	
	②	本店ビル	412 t CO ₂	
	③	事務センター	512 t CO ₂	
	④	岡山駅前支店	477 t CO ₂	
	⑤	大供支店	287 t CO ₂	
⑥	東本館	184 t CO ₂		
削減目標の達成状況	計画期間 : 令和 6 年度 ~ 令和 8 年度 (3 箇年度)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準 (6) 年度削減実績		目標削減率	目標達成
	<input type="checkbox"/> 原単位基準 50.4 %		3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 建物床面積	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6) 年度	目標年度
		0.06303 t CO ₂ /(m ²)	0.03125 t CO ₂ /(m ²)	0.06114 t CO ₂ /(m ²)
(該当事業者のみ記入)				
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・令和5年10月より芳賀CHビルおよび本店ビルにて再エネを導入し、前期はその効果が通年で寄与。また令和7年3月に非化石証書（2百万kwh）を購入したことによりCO₂排出量を大幅に削減。
- ・継続的に各営業店の照明・空調設備を高効率のものに更新。営業車両のEV化、営業店への太陽光パネル設置も行っており、営業店のエネルギー使用量も減少している。
- ・今後においても、設備更新や省エネに配慮した行動により、温室効果ガス排出削減に取り組む方針。

【推進体制】

- ・エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者を中心としたエネルギー管理体制を整備。
- ・エネルギー使用量の多い本店ビルや芳賀CHビルは、ビル管理者に対しても省エネに配慮した運用を要請し協力を得ている。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
【令和6年度実施分】 全店舗	【令和6年度実施分】 ■全店舗 ・冷暖房使用時の適切な室温管理の徹底。 ・不要な照明の消灯徹底。 ■照明器具をLED化 ・6か店（富田町、清輝橋、大供、瀬戸、福浜、連島） ■空調設備更新 ・10か店（周匝、落合、金光、津山市役所、津山北、津高、岡山南、加茂、平島、瀬戸） ■EV車両導入 ・11台 ■太陽光パネル設置 ・2か店（西阿知、笠岡）
照明設備更新	
空調設備更新	
EV車両導入	
太陽光パネル設置	
【今後実施予定分】	【今後実施予定分】 ・上記施策を継続的に実施するほか、再エネ電力契約店舗の拡大等によりCO ₂ 排出量の削減を図る。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	太陽光発電設備の導入、再エネ電気への切替え
その他	無	

【その他特記事項】

- ・2021年4月に制定した「ちゅうぎんグループサステナビリティ基本方針」において、CO₂排出量削減目標を「2030年度末までにScope1、2のネットゼロ」としている。
- ・目標達成に向けロードマップを策定し、各種施策の実施によりエネルギー使用量の削減を図る。